

# 6 高齢者及び若者の動き

## 1. 年齢階層別の夜間人口の推移

- 平成2年から平成22年にかけて奈良県の夜間人口の推移をみると、少子高齢化が進展していることがわかります。
- 平成22年では概ね4人に1人が高齢者となっています。

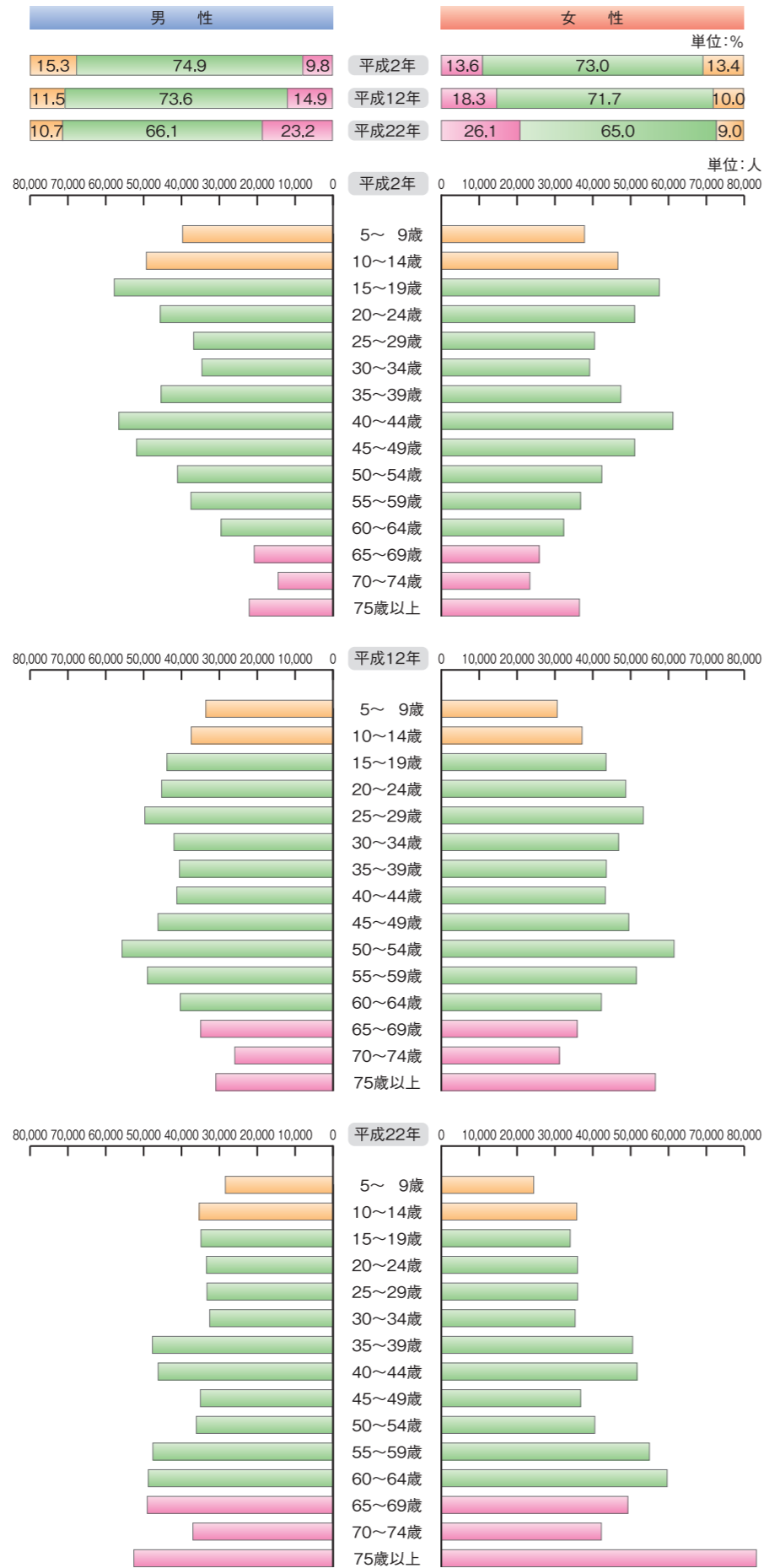
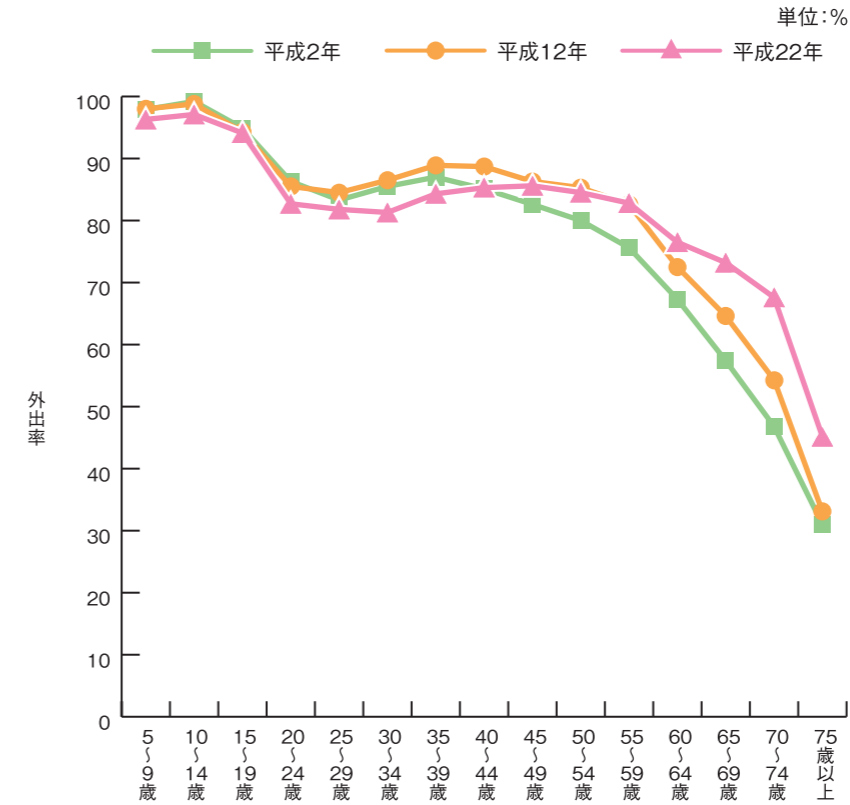


図26 性別・年齢階層別に見た夜間人口の推移(平成2年～平成22年)  
資料:国勢調査

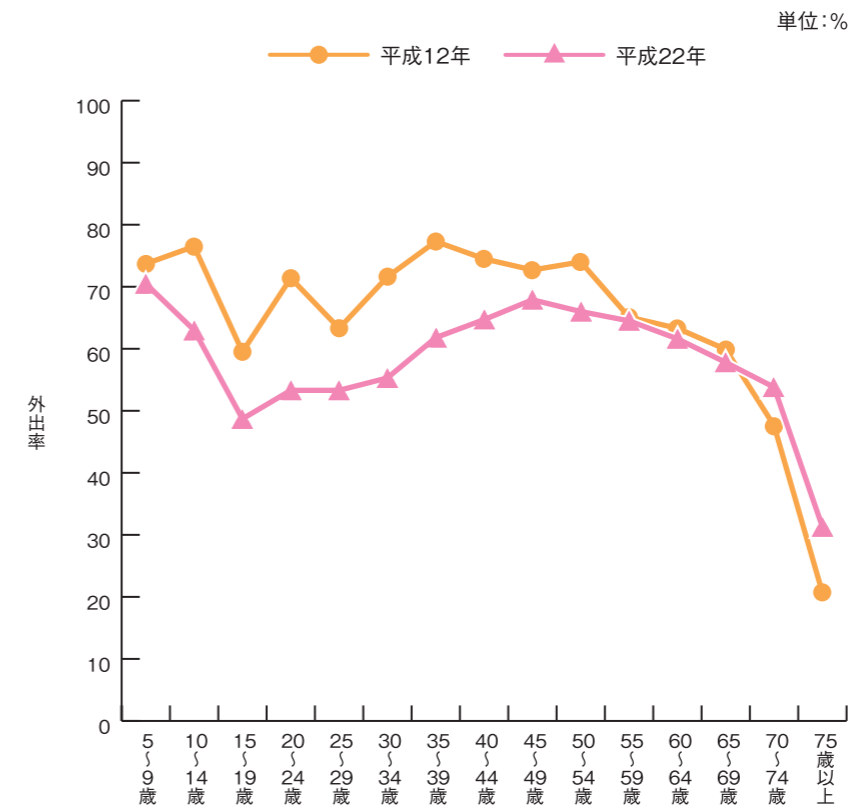
## 2. 年齢階層別の外出率の推移

- 年齢階層別の平日の外出率をみると、平成2年から平成22年にかけて20～40歳代において減少しています。
- 一方で、60歳以上では外出率が増加しています。



資料:第5回近畿圏パーソントリップ調査(第3回調査圏内の集計)  
図27 年齢階層別に見た平日の外出率の推移(平成2年～平成22年)

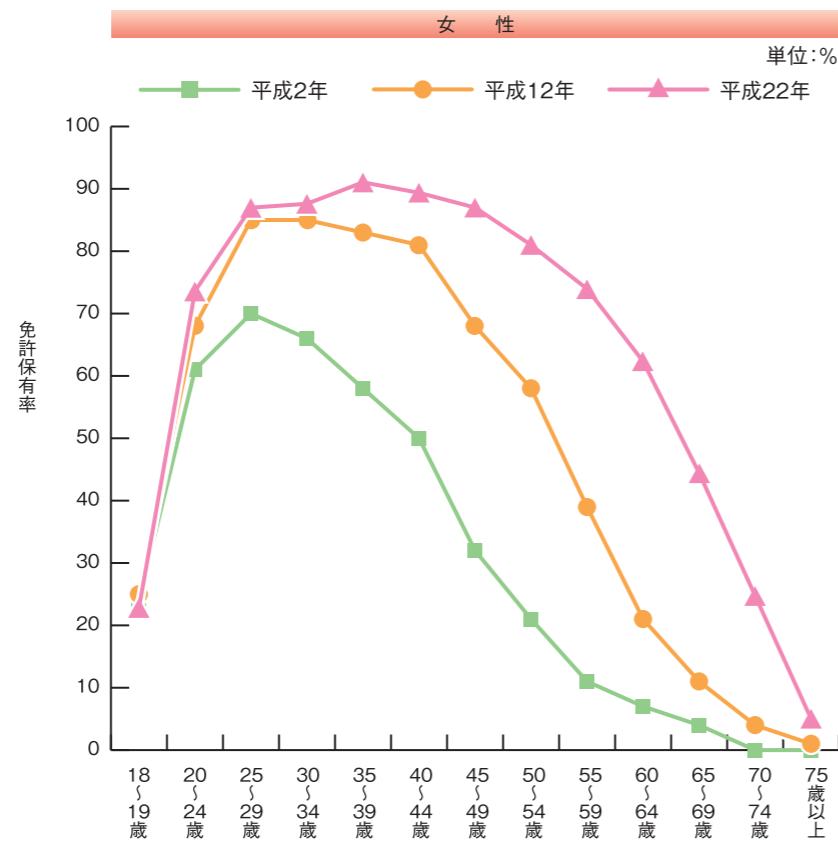
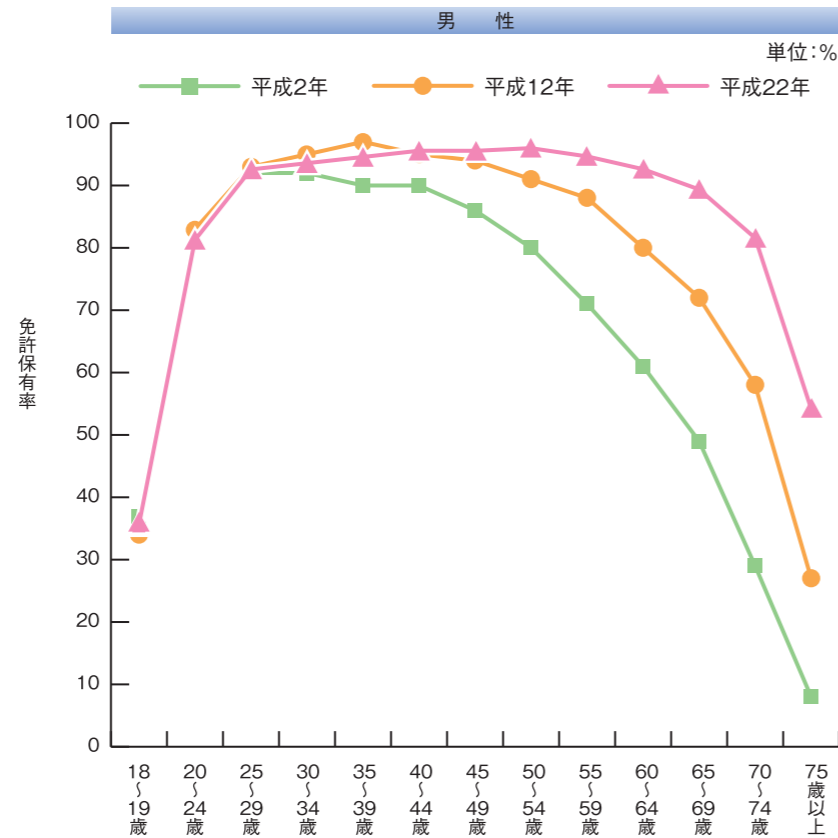
- 年齢階層別の休日の外出率をみると、平成12年から平成22年にかけてほとんどの年代で減少しています。
- 一方で、70歳以上では外出率が増加しています。



資料:第5回近畿圏パーソントリップ調査版(第3回調査圏内の集計)  
図28 年齢階層別に見た休日の外出率の推移(平成12年～平成22年)

### 3. 年齢階層別の免許保有率の推移

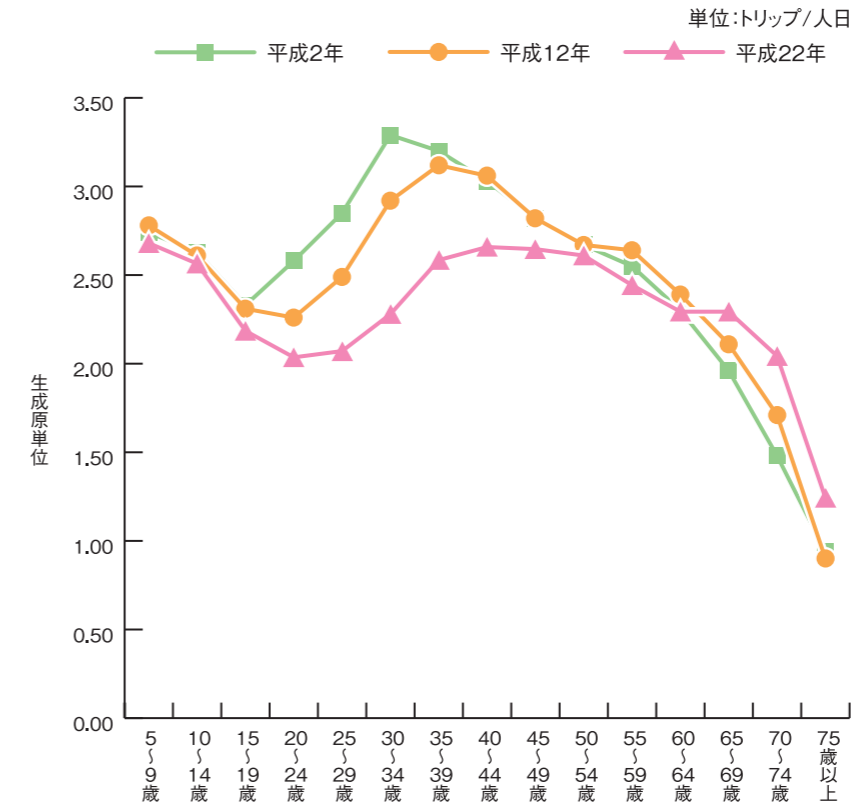
●性別・年齢階層別の免許保有率を見ると、全体的に増加傾向にあり、**男性では50歳以上、女性では30歳以上で大きく増加**しています。



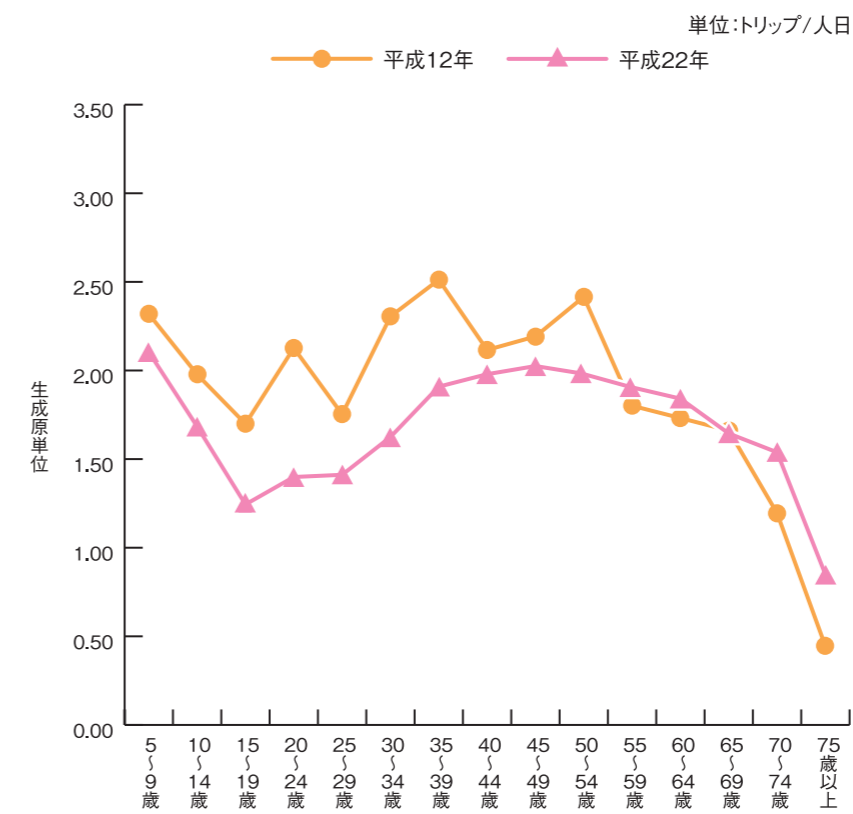
資料:第5回近畿圏パーソントリップ調査(第3回調査圏域内の集計)  
図29 性別・年齢階層別に見た免許保有率の推移(平成2年~平成22年)

### 4. 年齢階層別の生成原単位の推移

●平日の年齢階層別生成原単位をみると、**10~50歳代で減少**しています。  
●一方で、**60歳以上は増加**しています。



資料:第5回近畿圏パーソントリップ調査(第3回調査圏域内の集計)  
図30 年齢階層別に見た平日の生成原単位の推移(平成2年~平成22年)



資料:第5回近畿圏パーソントリップ調査(第3回調査圏域内の集計)  
図31 年齢階層別に見た休日の生成原単位の推移(平成12年~平成22年)

●休日の年齢階層別生成原単位をみると、55歳未満では減少しており、**特に20歳代~30歳代での減少が大きくなっています**。

5. 年齢階層別の代表交通手段構成の推移

- 平日の性別・年齢階層別の代表交通手段の推移をみると、男女共、いずれの年齢でも徒歩の割合が減少しています。
- 自動車の割合は、男性の15～64歳を除き、増加しています。
- 鉄道の割合は、男女共65歳以上において減少傾向となっています。

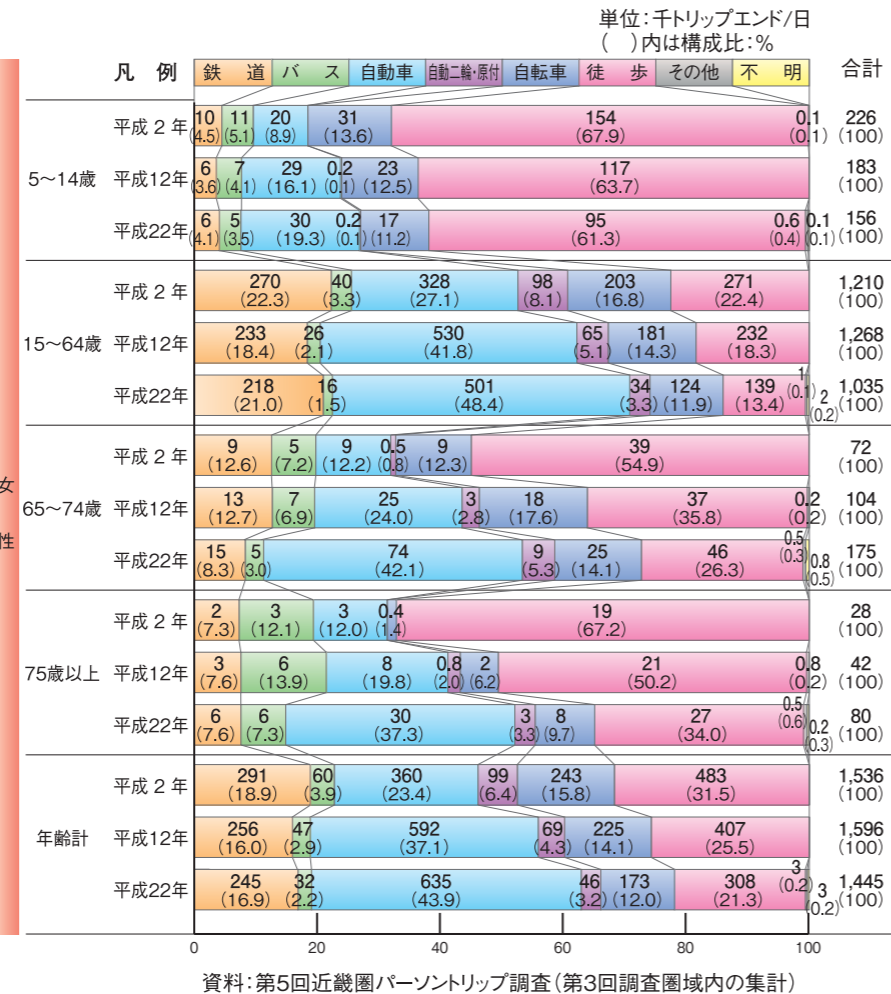
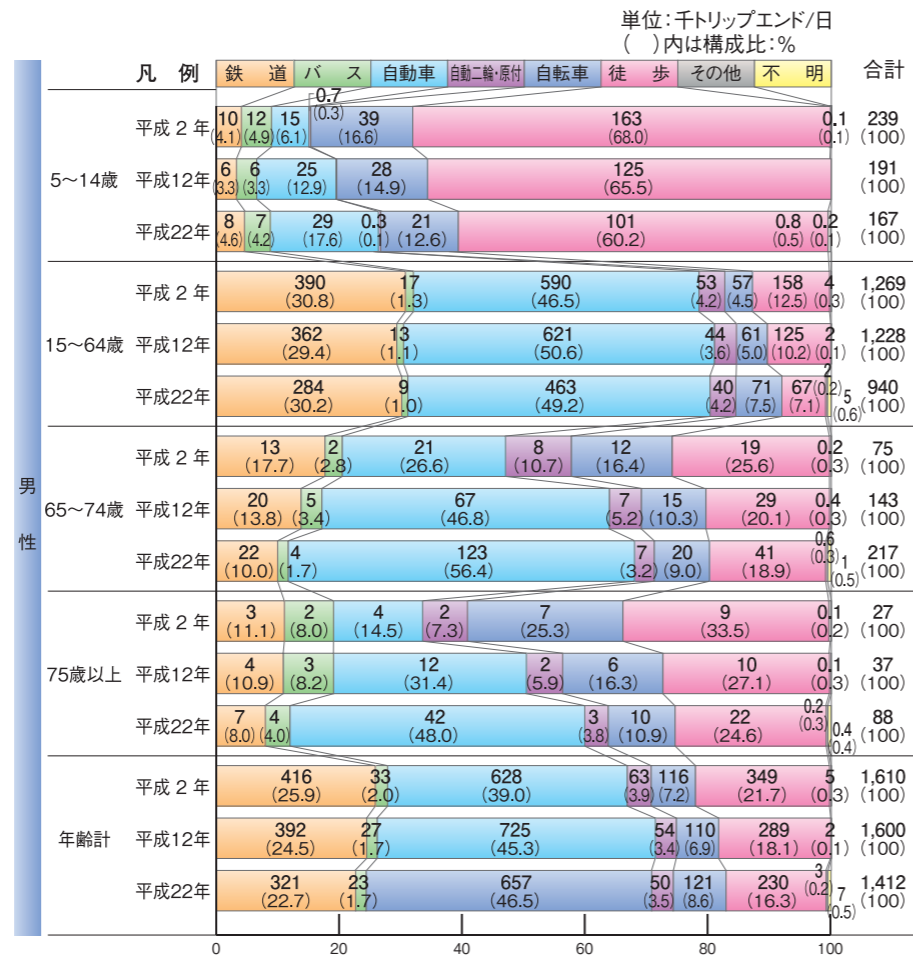


図32 性別・年齢階層別にみた平日の代表交通手段構成の推移(平成2年～平成22年)

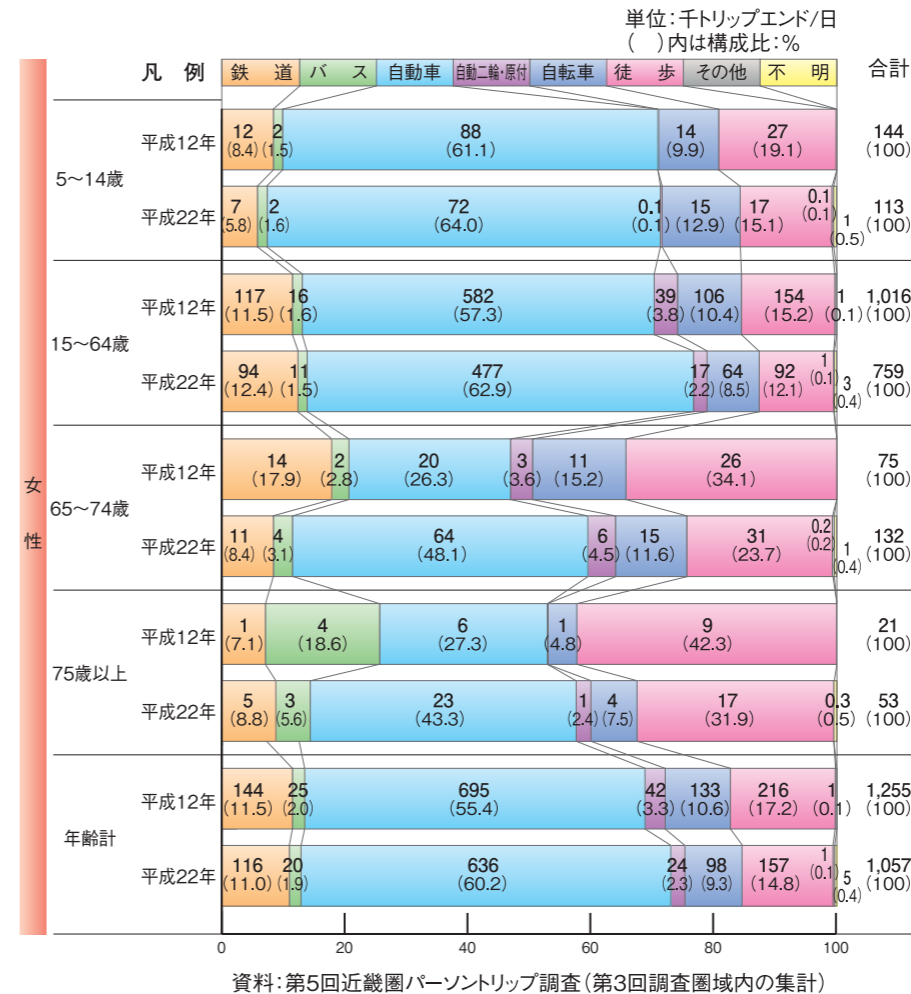


図33 性別・年齢階層別にみた休日の代表交通手段構成の推移(平成12年～平成22年)

- 休日の性別・年齢階層別の代表交通手段の推移をみると、平日同様に男性の15～64歳を除き自動車の割合が増加しています。
- また、男性の65歳以上では鉄道の割合が減少しています。